

横路福祉社会会報

〒七三七〇一三三
 呉市広横路四丁目一四六
 横路福祉会
 編集発行人
 神垣 光徳
 (0823)7118197

「地域に密着した保育所としての役割」

社会福祉法人 横路福祉会

理事長 神垣 光徳

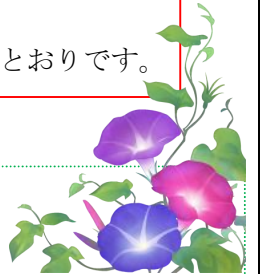
横路保育所は、長い歴史と伝統に培われ、地域の子どもの育にかかわってきたことはそれなりに意義深いことであり、近年、保育所は家庭の中で、地域の中で育つことが少なくなってきた「人とかわる力」を集団生活の中でつけていくことが望まれてきております。こうした、変貌著しい社会情勢を念頭に、新しい時代の要請に応える思いきった発想の転換を図り、子ども達にとって、人生の基盤となる数年間をいかに過ごすことが望ましいか、そして人生のさまざまな時点で、子どもと出会い、ふれあう体験が、どのように青少年や成人の成熟を促すのか、将来の望ましい「子ども像」の提案とそれを目指して、保育をしているということを伝えていかなければなりません。このような、状況の中で、保育所は、思いきった発想の転換と創意工夫を図り、時代にマッチした、保育サービスを提供し、地域社会に支えられて存在するのだという意識のもとに、地域住民との交流を図り、地域に開かれた施設であるよう心掛けるとともに、地域から信頼される、子どもにとって「最善の利益」となるような、保育を提供していきたいと思えます。これからも、子ども達のために何が出来るか、日々問いながら前進して参りたいと考えております。

皆様方の、一層のご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。



平成 25 年度 第 1 回役員会

5 月 24 日横路保育所において、役員会が開催されました。議題として諮られた平成 24 年度の事業報告と収支計算は事務局の説明と監事による監査の結果報告に続き質疑の後、承認されました。平成 24 年度収支決算の状況は下表のとおりです。



平成 24 年度事業報告書

1・事業の概要

(1) 近年、保育をめぐる社会情勢が大きく動くなかで、「すべての子どもの最善の利益」となるよう子どもの健やかな育ちを保障するために、すべての子どもの発達を支援する質の高い保育の実践、提供には、保育者の能力と専門性の向上が引き続き望まれております。

また、子育てに不安を感じる家庭への支援も含め地域社会における、子育て拠点として、保育所が存在意識を発揮する機能の強化、さらには、子育てを社会全体で支援していくために、地域子育て拠点の整備など、中核的な役割も、積極的に果たして行く事も大事であると同時に期待も高まっております。このような状況の中、当、保育所は、引き続き、利用している、子どもとその保護者への子育て支援の取り組みを積極的に行い、子育てを支える場の一つとしての役割を果たし、信頼感や満足度を高めていけるよう、日々努め、運営を行って参りました。

(2) 保育をする上において、リスクマネジメントや第三者評価の重要性も言われておりますが、その事を念頭におき、「保育所として何を大切にしているか」を明確にし、「子どもの最善の利益」となるよう、日頃から、保育上の共通認識を持ち、日常保育へ反映し、保護者からも、信頼されるよう努めて参りました。

(3) 生活の大半を保育所で過ごす子どもたちにとって、成長・発達や心の安定のため、毎日の食事が重要であり、保育所の果たす役割も、大きいと思えます。当保育所では、栄養士・調理士・保育士が日頃から連携して、子どもの状況を的確に把握するなど、望ましい食生活のあり方をすすめていき、積極的に「食育」への取り組みに力を入れ、「クッキング保育」・「菜園活動」などを実施し、子どもたちと食べる意欲を育てる取り組みをしております。

平成 24 年度 事業報告書

1. 保育児童数の状況

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 0 才 児 | 6 | 6 | 6 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 81 |
| 1・2 才 児 | 45 | 45 | 45 | 45 | 45 | 45 | 45 | 45 | 45 | 45 | 45 | 45 | 540 |
| 3 才 児 | 29 | 29 | 29 | 29 | 29 | 29 | 29 | 29 | 29 | 29 | 29 | 29 | 348 |
| 4 才以上児 | 61 | 61 | 61 | 61 | 61 | 61 | 61 | 61 | 61 | 60 | 59 | 59 | 727 |
| 計 | 141 | 141 | 141 | 142 | 142 | 142 | 142 | 142 | 142 | 141 | 140 | 140 | 1,696 |
| 開所日数 | 24 | 24 | 26 | 25 | 27 | 23 | 26 | 24 | 23 | 23 | 23 | 25 | 293 |

2. 一時保育利用者数(延べ人数)の状況

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 3 才未満児 | 119 | 159 | 146 | 120 | 128 | 104 | 118 | 119 | 76 | 95 | 86 | 86 | 1,356 |
| 3 才以上児 | 14 | 27 | 46 | 31 | 25 | 43 | 74 | 72 | 76 | 76 | 75 | 78 | 637 |
| 計 | 133 | 186 | 192 | 151 | 153 | 147 | 192 | 191 | 152 | 171 | 161 | 164 | 1,993 |

3. 延長保育利用者数の状況

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 利用者延べ数 | 136 | 190 | 241 | 186 | 165 | 168 | 224 | 221 | 193 | 202 | 177 | 213 | 2,316 |

平成 24 年度 社会福祉法人 横路福祉会

単位：円

貸借対照表

平成 25 年 3 月 31 日

| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
|------|-------------|-------------|-------------|
| 流動資産 | 40,058,220 | 流動負債 | 6,275,915 |
| 固定資産 | 121,114,117 | 固定負債 | 6,644,200 |
| | | 基本金 | 9,325,625 |
| | | 国庫補助金等特別積立金 | 44,605,755 |
| | | その他の積立金 | 43,950,000 |
| | | 次期繰越活動収支差額 | 50,370,842 |
| 計 | 161,172,337 | 計 | 161,172,337 |

自 平成 24 年 4 月 1 日

収支決算書

至 平成 25 年 3 月 31 日

| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
|----------|-------------|-----------|-------------|
| 人件費支出 | 89,366,489 | 保育所運営費収入 | 101,922,820 |
| 事務費支出 | 10,821,454 | その他の事業収入 | 17,231,601 |
| 事業費支出 | 18,744,846 | 受取利息配当金収入 | 41,161 |
| 固定資産取得支出 | 4,177,250 | その他の収入 | 249,420 |
| 積立預金積立支出 | 0 | | |
| 当期資金収支差額 | △3,665,037 | | |
| 計 | 119,445,002 | 計 | 119,445,002 |



「横路保育所とともに」

保護者会会長 澤崎 直美

主人の急な転勤に伴い、ここ広地区への引越しが決まった我が家。当時、他市の保育園に通園していた二人の息子がそろって転園できる保育施設を探す中、快く返事をしてくださったのが、「横路保育所」でした。

慌ただしい新年度の朝、引越しと同時に連れて来られた息子達。元気な黄色い壁と、先生たちの大きな挨拶と笑顔で迎えられ満足そうな顔。そんな光景に、夫婦で大きな安心を感じた事をよく覚えています。

早いものでそれから六年目を迎え、長男は小学三年生、次男は年長組になりました。

入園したその日から、毎日帰宅の車中で、「今日の出来事」を覚えてくれる子ども達。たくさん先生方、お友達の名前が出てきます。「楽しかった事」、「嬉しかった事」はもちろん、「面白くなかった事」や「涙した事件!」もあるようですが、どんな話もとても楽しそうに話してくれます。

保護者参加行事では、毎回、先生方に楽しく斬新なアイデアの催しで楽しませてもらっています。この先生方の一体感に子ども達だけでなく私達保護者も、安心感と息の抜けるひと時を与えてもらっています。

こうした園長先生を始め、職員の方々の関わりで、毎日たくさん経験が、素敵な記憶として子ども達の心に刻み込まれる事に感謝し、感謝する日々です。

まだ、お座りがやっとだった次男もあと数カ月で卒園です。かけがえのない時を、「すなおで、おもしろいのある元気な子」として関わり育ててもらい、送り出してもらえる事に改めてお礼を申し上げます。又、これからも変わらず、子どもたち、保護者の皆様が楽しく育って行ける場として、横路保育所の益々の発展とご活躍を心より念願しております。

「保育士として」

保育士 西田公美

私が保育士になったきっかけは、幼い頃に言われた「小さい子と遊ぶのが上手だよね。保育士さんとか向いてるんじゃない?」という母の一言でした。

職場体験、保育所実習等を通して、多くの子ども達と関わる度に、保育士になりたいという夢がどんどん強くなっていき、二〇〇四年に憧れの保育士としての生活がスタートしました。

しかし、保育士になったばかりの私は戸惑いと緊張の連続でした。やりたいことはあるものの、それをどう表現し、保育に生かせばいいのか分からず、葛藤の毎日。それでも自分の力でなんとかしようとし、余裕のない日々でした。そんな日々を過ごしながらも、保育士として四年の月日が過ぎ、二〇〇八年に縁あって横路保育所で働かせていただくことになりました。

横路保育所では、多くの経験豊かな先輩方と出会い、今までになかった様々な保育を見る機会がありました。先輩の保育を見て、実際に子どもと一緒に体験することで、こんな時は「こうしたらいいんだ、こんなやり方もあるんだ」と新たな発見があり、驚きの連続でした。また、どうしていいのか悩んだ時にはさりげないアドバイスを頂き、自分の中にあつた保育観がどんどん豊かなものになっていきました。そして一人で考え悩むのではなく、声に出して言うこと、言葉を交わすことの大切さを学びました。今までは目の前にあるものだけで精一杯だった余裕のない私の保育が少しずつ、先を見据えて、考えられるようになってきました。それもひとえに、相談できる先輩方と協力的な職場環境にあると思います。感謝の気持ちでいっぱいです。

これからもこんな素敵な場所で、子ども達の成長、笑顔、未来の為に勉強し、時にアドバイスを頂きながら、自分の保育の質を向上し、先輩方のような素敵な保育士になれるよう、日々努力していきたいと思えます。



食育指導



田植え



創立記念の会